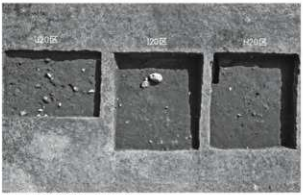
1．姥沢遺跡遠景（西から）

2．姥沢遺跡調査地遠景（下が北）

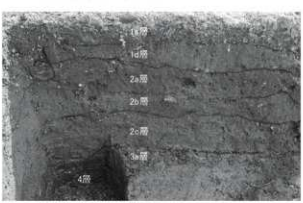
図62　姥沢遺跡遠景



1．調査終了状況（下が北）

2．調査終了状況（左が北）

3．H20区調査終了状況（下が北）



4．H20区南壁土層断面東側（北から）

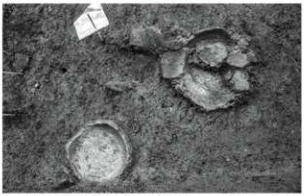
5．H20区南壁土層断面西側（北から）

6．I20区調査終了状況（南から）

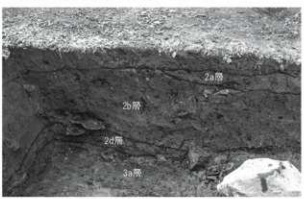
7．I20区2c層遺物分布状況（西から）

図63　H20区・I20区調査状況

1．I20区2b層下部遺物出土状況１（東から）



2．I20区2b層中遺物出土状況（南から）

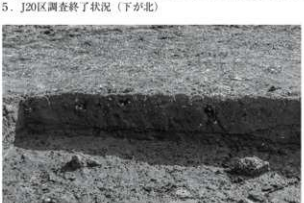


3．I20区土層断面南壁東側（北から）

4．I20区土層断面南壁西側（北から）

5．J20区調査終了状況（下が北）

6．J20区遺物分布状況（北から）



7．J20区土層断面南壁東側（北から）

8．J20区土層断面南壁西側（北から）

図64　I20区・J20区調査状況

〈引用・参考文献〉

内山隆弘 2022「明治期の仙台市川内地区周辺での都市整備における石材利用の様相について」『日本建築学会東北支部研究報告集計画系』85 pp.163－166

長佐古真也 2007「続お茶碗考－近代・現代の中形碗に飯碗を探る－」『考古学が語る日本の近現代』同成社

加藤道男ほか 1984『東北自動車道遺跡調査報告書Ⅸ』宮城県文化財調査報告書 99 宮城県教育委員会

菅野智則 2022「仙台城跡川内地区の土地利用の変遷」『仙台藩の武家屋敷と政治空間』岩田書院 pp.23－47

小林清春監修 1994『絵図・地図から見る仙台』今野印刷

小林　啓・栗本康司・藤沢　敦・松井敏也 2006「木製収蔵箱による埋蔵文化財の収蔵・保管の意義」『日本考古学協会第 72 回総会研究発表要旨』日本考古学協会 pp.318－321

小林　啓・栗本康司・松井敏也 2006「木製箱と油脂箱」『考古学ジャーナル』552 pp.25－30

小林謙一 2017『縄文時代の実年代』同成社

小林達雄編 2008『総覧縄文土器』アム・プロモーション

佐藤雅也 2000「資料紹介－仙台市管区経理部『各部隊配置図・国有財産台帳附図』について－」『足下からみる民俗（9）』調査報告書第 19 集 仙台市歴史民俗資料館 pp.131－135

澁谷悠子 2011「仙台城下絵図にみる屋敷拝領者変遷と階層性－川内地区の事例に基づいて－」『仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第 11 地点・第 12 地点』東北大学埋蔵文化財調査室調査報告 1　東北大学埋蔵文化財調査室 pp.266－298

仙台市教育局生涯学習部文化財課 2005『仙台城跡整備基本計画』

仙台市史編纂委員会 1955『仙台市史』2 本篇 2 仙台市役所

主濱光朗ほか 2011『仙台城跡』仙台市文化財調査報告書第 386 集 仙台市教育委員会

千葉直美 2001「糖アルコール含浸法における予備実験」『東北大学埋蔵文化財調査年報』16 東北大学埋蔵文化財調査研究センター pp.19－26

東北大学大学院文学研究科考古学研究室・東北大学埋蔵文化財調査室 2020「2019・2020 年度姥沢遺跡の発掘調査の概要」『令和 2 年度宮城県遺跡調査成果資料集』pp. 1 － 6

丹羽　茂ほか 1982『東北自動車道遺跡調査報告書Ⅶ』宮城県文化財調査報告書 92 宮城県教育委員会

藤澤　敦 2011「川内地区における江戸時代の道路の復元」『仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第 11 地点・第 12 地点』東北大学埋蔵文化財調査室調査報告 1　東北大学埋蔵文化財調査室 pp.299－309

吉岡一男編 2005『絵図・地図で見る仙台』第二輯 今野印刷

Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates. *Radiocarbon* 51(1), pp.337-360

Reimer, P.J. et al. 2020 The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0-55 cal kBP). *Radiocarbon* 62(4), pp.725-757

Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of 14C data. *Radiocarbon* 19(3), pp.355-363

Ⅳ．資料

１．国立大学法人東北大学埋蔵文化財調査室規程

平成６年５月17日　規第56号

（趣旨）

第１条　この規程は、東北大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

（目的）

第２条　調査室は、東北大学（以下「本学」という。）の学内共同教育研究施設等として、本学の施設整備が円滑に行われるために、構内の埋蔵文化財に関する調査を行い、併せて資料の保管及びその活用を図ることを目的とする。

（職及び職員）

第３条　調査室に、次の職及び職員を置く。

室長

文化財調査員

特任准教授

事務職員

その他の職員

（室長）

第４条　室長は、調査室の業務を掌理する。

２　室長は、本学の専任の教授をもって充てる。

３　室長の選考は、第６条に規定する運営委員会の議を経て、総長が行う。

４　室長の任期は、２年とし、再任を妨げない。

（文化財調査員）

第５条　文化財調査員は、室長の命を受け、調査室の業務に従事する。

２　文化財調査員は、調査室の職員をもって充てる。

（運営委員会）

第６条　調査室に、その組織、人事、予算その他運営に関する重要事項を審議するため、運営委員会を置く。

（運営委員会の組織）

第７条　運営委員会は、委員長及び次の各号に掲げる委員をもって組織する。

一　キャンパス総合計画委員会の委員　若干人

二　発掘調査に関連のある専門分野の教授又は准教授　若干人

三　発掘調査地に関連のある部局の教授又は准教授で、その都度委員長が指名するもの

四　施設部長

（委員長）

第８条　委員長は、室長をもって充てる。

２　委員長は、運営委員会の会務を総理する。

３　委員長は、必要があると認めるときは、運営委員会の同意を得て、委員以外の者を運営委員会に出席させ、議案について、必要な説明をさせ、又は意見を述べさせることができる。

（調査部会）

第９条　運営委員会に、埋蔵文化財の発掘調査に関する専門の事項を調査審議させるため、調査部会を置く。

（調査部会の組織）

第10条　調査部会は、部会長及び次の各号に掲げる委員をもって組織する。

一　調査室の特任准教授
二　文化財調査員
三　発掘調査に関連のある専門分野の教授又は准教授　若干人
四　施設部計画課長
五　発掘調査地に関連のある部局の事務部の長

（部会長）

第11条　部会長は、室長をもって充てる。

2　部会長は、調査部会の会務を掌理する。

（委嘱）

第12条　第７条第１号から第３号まで並びに第10条第３号に掲げる委員は、室長が委嘱する。

（任期）

第13条　第７条第１号から第３号まで並びに第10条第３号に掲げる委員の任期は、２年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2　前項の委員は、再任されることができる。

（幹事）

第14条　運営委員会に幹事を置き、施設部計画課長をもって充てる。

（事務）

第15条　調査室の事務については、国立大学法人東北大学事務組織規程（平成16年規第151号）の定めるところによる。

（雑則）

第16条　この規程に定めるもののほか、調査室の組織及び運営に関し必要な事項は、室長が定める。

附　則

1　この規程は、平成６年５月17日から施行する。

2　東北大学埋蔵文化財調査委員会規程（昭和58年規第38号）は、廃止する。

3　東北大学公印規程（昭和46年規第17号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附　則（平成16年４月１日規第207号改正）

この規程は、平成16年４月１日から施行する。

附　則（平成18年4月26日規第80号改正）

1　この規程は、平成18年４月26日から施行し、改正後の国立大学法人東北大学埋蔵文化財調査室規程の規定は、平成18年４月１日から適用する。

2　平成18年４月１日（以下「適用日」という。）の前日にセンター長の任にある者は、適用日において改正後の第４条第３項の規定により室長となったものとみなし、その任期は、同条第4項の規定にかかわらず、平成18年５月16日までとする。

附　則（平成19年４月１日規第76号改正）

この規程は、平成19年４月１日から施行する。

附　則（平成25年４月23日規第56号改正）

この規程は、平成25年４月23日から施行し、改正後の第７条第１号の規定は、平成25年４月１日から適用する。

附　則（平成27年３月23日規第18号改正）

この規程は、平成27年４月１日から施行する。

附　則（平成29年３月28日規第64号改正）

この規程は、平成29年４月１日から施行する。

2．東北大学埋蔵文化財調査室運営委員会委員名簿（2021年度）

委員長	室　　長（学術資源研究公開センター　教授）	藤澤　敦
委　員	キャンパス総合計画委員会（川内キャンパス環境整備協議会　経済学研究科長）	守　健司
	キャンパス総合計画委員会（青葉山キャンパス環境整備協議会　理学研究科長）	寺田眞浩
	キャンパス総合計画委員会（キャンパスデザイン室　特任教授）	杉山　丞
	学術資源研究公開センター　教授	高嶋礼詩
	文学研究科　教　授	柳原敏昭
	文学研究科　教　授	鹿又喜隆
	文学研究科　教　授	堀　裕
	工学研究科　准教授	飛ヶ谷潤一郎
	災害科学国際研究所　准教授	佐藤大介
	施　設　部　長	後藤　勝
幹　事	施　設　部　計画課長	冨田善公

3．東北大学埋蔵文化財調査室運営委員会調査部会委員名簿（2021年度）

委員長	室　　長（学術資源研究公開センター　教授）	藤澤　敦
委　員	学術資源研究公開センター　教授	高嶋礼詩
	文学研究科　教　授	柳原敏昭
	文学研究科　教　授	鹿又喜隆
	文学研究科　教　授	堀　裕
	工学研究科　准教授	飛ヶ谷潤一郎
	災害科学国際研究所　准教授	佐藤大介
	埋蔵文化財調査室　文化財調査員（特任准教授）	菅野智則
	埋蔵文化財調査室　文化財調査員（専門職員）	柴田恵子
	埋蔵文化財調査室　文化財調査員（専門職員）	石橋　宏
	施　設　部　計画課長	冨田善公

4．東北大学埋蔵文化財調査室刊行報告書一覧

《東北大学埋蔵文化財調査年報》

書　名	刊行年	掲載内容	刊行主体
東北大学埋蔵文化財調査年報１	1985	昭和58年度（1983年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査委員会
		仙台城跡二の丸第１地点（NM1）	
		仙台城跡二の丸第２地点（NM2）	
		仙台城跡二の丸第３地点（NM3）	
東北大学埋蔵文化財調査年報２	1986	昭和59年度（1984年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査委員会
		青葉山Ｂ遺跡第１次調査（AOB1）	
		青葉山Ｂ遺跡第２次調査（AOB2・旧称AOF）	
		青葉山Ｅ遺跡第１次調査（AOE1）	
東北大学埋蔵文化財調査年報３	1990	昭和60年度（1985年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査委員会
		仙台城跡二の丸第６地点（NM6）	
		芦ノ口遺跡第１次調査（TM1）	
		芦ノ口遺跡1976年考古学研究室による調査（TK）	
		研究編－東北地方における近世窯業と陶磁器をめぐる問題ほか	
東北大学埋蔵文化財調査年報４・５	1992	昭和61年度（1986年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査委員会
		昭和62年度（1987年度）事業概要	
		仙台城跡二の丸第４地点（NM4）	
		仙台城跡二の丸第７地点（NM7）	
		仙台城跡二の丸第８地点（NM8）	
東北大学埋蔵文化財調査年報６	1993	昭和63年度（1988年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査委員会
		仙台城跡二の丸第５地点（NM5）	
東北大学埋蔵文化財調査年報７	1994	平成１年度（1989年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査委員会
		仙台城跡二の丸第５地点（NM5）付帯施設部分	
		仙台城跡二の丸第５地点（NM5）調査成果の検討	
		仙台城跡二の丸第５地点武家屋敷地区第５地点（BK5）	
		川渡農場町西遺跡第１地点（KW1）	
東北大学埋蔵文化財調査年報８	1997	平成２年度（1990年度）事業概要	東北大学 埋蔵文化財調査研究センター
		仙台城跡二の丸第９地点（NM9）	
東北大学埋蔵文化財調査年報９	1998	平成３年度（1991年度）事業概要	東北大学 埋蔵文化財調査研究センター
		仙台城跡二の丸第10地点（NM10）	
		芦ノ口遺跡第２次・３次調査（TM2・TM3）	
		考察編－仙台城二の丸跡の考古学的調査－	
東北大学埋蔵文化財調査年報10	1998	平成４年度（1992年度）事業概要	東北大学 埋蔵文化財調査研究センター
		仙台城跡二の丸第13地点（NM13）	
		青葉山地区分布調査	
		研究編－相馬藩における近世窯業生産の展開	
東北大学埋蔵文化財調査年報11	1999	平成５年度（1993年度）事業概要	東北大学 埋蔵文化財調査研究センター
		仙台城跡二の丸第12地点（NM12）	
		仙台城跡二の丸第14地点（NM14）	
		青葉山Ｅ遺跡第２次調査（AOE2）	
東北大学埋蔵文化財調査年報12	1999	平成６年度（1994年度）事業概要	東北大学 埋蔵文化財調査研究センター
		仙台城跡二の丸第15地点（NM15）	
		青葉山Ｅ遺跡第３次調査（AOE3）	
東北大学埋蔵文化財調査年報13	2000	平成７年度（1995年度）事業概要	東北大学 埋蔵文化財調査研究センター
		仙台城跡二の丸第11地点（NM11）	
		仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第４地点（BK4）	
		青葉山Ｅ遺跡第４次調査（AOE4）	
		研究編－東北大学構内（仙台城二の丸跡）遺跡出土漆器資料の材質と製作技法	
東北大学埋蔵文化財調査年報14	2001	平成８年度（1996年度）事業概要	東北大学 埋蔵文化財調査研究センター
		仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第６地点（BK6）	
		青葉山Ｅ遺跡第５次調査（AOE5）	
		芦ノ口遺跡第４次調査（TM4）	
東北大学埋蔵文化財調査年報15	2001	平成９年度（1997年度）事業概要	東北大学 埋蔵文化財調査研究センター
		仙台城跡二の丸第16地点（NM16）	
		青葉山Ｅ遺跡第６次調査（AOE6）	

書　名	刊行年	掲載内容	刊行主体
東北大学埋蔵文化財調査年報16	2001	平成10年度（1998年度）事業概要	東北大学 埋蔵文化財調査研究センター
		研究編－糖アルコール含浸法における予備実験	
東北大学埋蔵文化財調査年報17	2002	平成11年度（1999年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査研究センター
東北大学埋蔵文化財調査年報18	2005	平成12年度（2000年度）事業概要	東北大学 埋蔵文化財調査研究センター
		仙台城跡二の丸第17地点（NM17）	
東北大学埋蔵文化財調査年報19 第１分冊	2006	平成13年度（2001年度）事業概要	東北大学 埋蔵文化財調査研究センター
		芦ノ口遺跡第５次調査（TM5）	
		仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第７地点（BK7） 遺構	
東北大学埋蔵文化財調査年報19 第２分冊	2009	仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第７地点（BK7） 陶磁器・土器・土製品・瓦	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査年報19 第３分冊	2007	仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第７地点（BK7） 木簡・墨書ある木製品	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査年報19 第４分冊	2008	仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第７地点（BK7） その他の遺物	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査年報19 第５分冊	2010	仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第７地点（BK7） 分析・考察	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査年報20	2006	平成14年度（2002年度）事業概要	東北大学 埋蔵文化財調査研究センター
		仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第８地点（BK8）	
		青葉山Ｅ遺跡第７次調査（AOE7）	
		青葉山Ｅ遺跡第８次調査（AOE8）	
東北大学埋蔵文化財調査年報21	2007	平成15年度（2003年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
		仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第９地点（BK9）	
		芦ノ口遺跡第６次調査（TM6）	
東北大学埋蔵文化財調査年報22	2008	平成16年度（2004年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査年報23	2009	平成17年度（2005年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査年報24	2010	平成18年度（2006年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
		仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第10地点（BK10）	
		青葉山新キャンパス地区試掘調査	

〈東北大学埋蔵文化財調査室調査報告〉

シリーズ名	書　名	刊行年	掲載内容	刊行主体
東北大学 埋蔵文化財調査室 調査報告１	仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第11地点・第12地点 －仙台市高速鉄道東西線機能補償関係調査報告書－	2011	東西線補償関係埋蔵文化財調査の概要	東北大学 埋蔵文化財調査室
			仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第11地点（BK11）	
			仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第12地点（BK12）	
			川内地区の絵図記載人名の検討	
			川内地区における江戸時代の道路の復元	
東北大学 埋蔵文化財調査室 調査報告２	仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第13地点	2013	仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第13地点（BK13）	東北大学 埋蔵文化財調査室
東北大学 埋蔵文化財調査室 調査報告３	芦ノ口遺跡第７次調査・第８次調査	2014	芦ノ口遺跡第７次調査（TM7）・第８次調査（TM8）	東北大学 埋蔵文化財調査室
東北大学 埋蔵文化財調査室 調査報告４	芦ノ口遺跡第９次調査・青葉山Ｅ遺跡第９次調査－東日本大震災復旧事業関係調査報告書－	2015	芦ノ口遺跡第９次調査（TM9）・青葉山Ｅ遺跡第９次調査（AOE９）	東北大学 埋蔵文化財調査室
東北大学 埋蔵文化財調査室 調査報告５	仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第16地点	2016	仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第16地点（BK16）	東北大学 埋蔵文化財調査室
東北大学 埋蔵文化財調査室 調査報告６	仙台城跡二の丸地区第18地点	2017	仙台城跡二の丸地区第18地点（NM18）	東北大学 埋蔵文化財調査室
東北大学 埋蔵文化財調査室 調査報告７	仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第14地点 第１分冊	2019	仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第14地点（BK14）	東北大学 埋蔵文化財調査室
東北大学 埋蔵文化財調査室 調査報告８	仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第14地点 第２分冊	2020	仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第14地点（BK14）	東北大学 埋蔵文化財調査室

〈東北大学埋蔵文化財調査室年次報告〉

書　名	刊行年	掲載内容	刊行主体
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2007	2010	平成19年度（2007年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2008	2010	平成20年度（2008年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2009	2012	平成21年度（2009年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2010	2012	平成22年度（2010年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2011	2013	平成23年度（2011年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2012	2014	平成24年度（2012年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2013	2015	平成25年度（2013年度）事業概要 芦ノ口遺跡第10次調査（TM10）	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2014	2016	平成26年度（2014年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2015	2017	平成27年度（2015年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2016	2018	平成28年度（2016年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2017	2019	平成29年度（2017年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2018	2020	平成30年度（2018年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2019	2021	令和元年度（2019年度）事業概要	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2020	2022	令和元年度（2020年度）事業概要 仙台城跡二の丸第19地点（NM19） 芦ノ口遺跡第11次調査（TM11）	東北大学埋蔵文化財調査室
東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2021	2023	令和２年度（2021年度）事業概要 仙台城跡二の丸北方武家屋敷地区第17次（BK17）・第18次（BK18）・第19次（BK19）姥沢遺跡2021年度調査	東北大学埋蔵文化財調査室

＊これらの刊行物は、東北大学機関リポジトリTOURおよび全国遺跡報告総覧で全て公開している。
東北大学機関リポジトリTOUR　https://tohoku.repo.nii.ac.jp
全国遺跡報告総覧　http://sitereports.nabunken.go.jp/ja

報 告 書 抄 録

ふりがな	とうほくだいがく　まいぞうぶんかざいちょうさしつ　ねんじほうこく
書名	東北大学埋蔵文化財調査室年次報告
副書名	
巻次	
シリーズ名	東北大学埋蔵文化財調査室年次報告
シリーズ番号	2021
編著者名	菅野智則　石橋　宏　柴田恵子　佐藤源之　㈱加速器分析研究所
編集機関	東北大学埋蔵文化財調査室
所在地	〒980-8577　宮城県仙台市青葉区片平二丁目1－1
発行年月日	西暦2023年３月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	世界測地系 北緯	世界測地系 東経	調査期間	調査面積	調査原因
仙台城跡 （せんだいじょうあと）	宮城県（みやぎけん）仙台市（せんだいし） 青葉区（あおばく）川内27－1	04100	01033	38度 13分 35秒	140度 51分 1秒	2021.9.1～ 2022.1.17 （中断含む）	176.0㎡	北キャンパス屋外エレベーター設置その他工事
				38度 9分 12秒	140度 30分 19秒	2021.9.13～11.30	284.5㎡	北キャンパステニスコート芝張替その他工事
				38度 9分 14秒	140時 30分 42秒	2021.11.15～ 12.17	174.1㎡	災害復旧工事
姥沢 （うばさわ）	宮城県（みやぎけん）柴田（しばた） 村田町（むらたまち）沼田（ぬまた）字（あざ） 姥沢（うばさわ）80番地	04322	07052	38度 5分 7.9秒	140度 42分 21.9秒	2022.3.20～ 2022.3.31	21.14㎡	学術調査

所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺物	特記事項
仙台城跡（せんだいじょうあと） 二（に）の丸北方（まるきたがた） 武家屋敷地区（ぶけやしきちく） 第17地点（だいじゅうちてん）	城館（じょうかん）	近世（きんせい）	不明遺構２（時期不明）	磁器・陶器（近世・近代）	堆積層の放射性炭素年代測定年代測定あり。
同（どう） 第18地点（だいじゅうはちてん）			井戸（近世１）、建物２、柱列３、溝５、ピット８	磁器・陶器（近世・近代）、瓦質土器、硬式陶器、土製品台、剥片	近代の遺構が中心となる。
同（どう） 第19地点（だいじゅうきゅうてん）			溝跡２、盛土遺構１	磁器・陶器（近世・近代）、土師質土器、軟質施釉陶器、瓦、縄文・弥生土器、剥片	近代の遺構が中心となる。
姥沢（うばさわ）	散布地（さんぷち）	縄文（じょうもん）	遺物包含層１、土坑１	縄文土器、石器、土製品、石製品	縄文時代後期前半の包含層

仙台城跡 二の丸北方 武家屋敷地区 第17地点 要　約	調査区は２区に分かれる。１区はすでに削平されていた。２区では旧表土と考えられる土層、その下部から地山へと至る土層が確認された。これらの土層の時期を比定できる遺物は出土していないが、土層に含まれた炭化物の放射性炭素年代測定の結果から、縄文時代中期中葉（５層）、前期初頭～前葉（７層）の年代が想定される。
同　第18地点 要　約	近代建物の基礎の一部と考えられる円礫列、柱列等を確認した。これらの構造物は、旧第二師団期の建物と推定される。また、古い時代の遺構としては、理土から近世の遺物が出土している井戸が確認されている。
同　第19地点 要　約	近代の盛土遺構と溝２基を確認した。盛土遺構・溝から近世・近代の遺物が確認されている。
姥　沢 要　約	縄文時代後期前半の包含層の調査を行った。

Annual report in fiscal year 2021

Archaeological Research office on the Campus,
Tohoku University

東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2021

2023（令和５）年３月31日

発 行　東北大学埋蔵文化財調査室
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平二丁目１－１
ＴＥＬ　022（217）4995
ＦＡＸ　022（217）5103
E-mail　maibun@grp.tohoku.ac.jp

印 刷　株式会社 東　北　プ　リ　ン　ト
〒980-0822 仙台市青葉区立町24－24
ＴＥＬ　022（263）1166